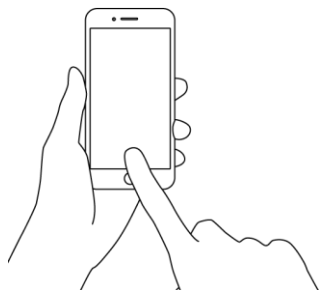


千歳市町内会 活性化のための

ヒント集



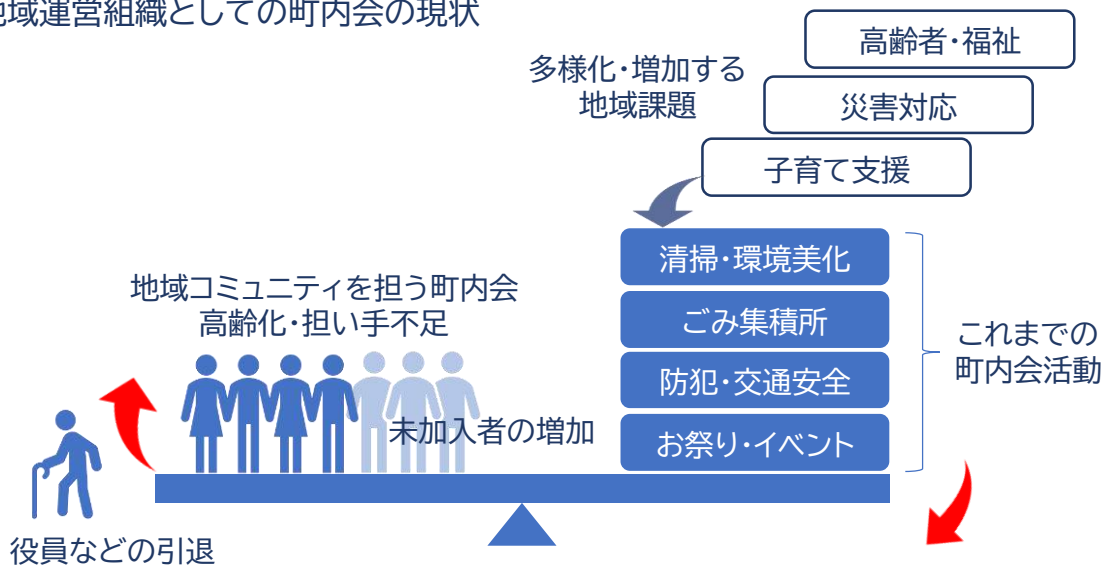
千歳市町内会連合会
株式会社KITABA

地域コミュニティで 起きていること

地域コミュニティの中心である「町内会」はいま…

- 町内会は「地域運営組織」として、地域コミュニティの中心を担ってきました。
- 少子高齢化などに伴い、これまでの町内会活動のほかに、多様な役割が求められています。
- しかし、高齢化や担い手不足、未加入者の増加などにより、新たに求められる役割を担うことが難しくなっています。

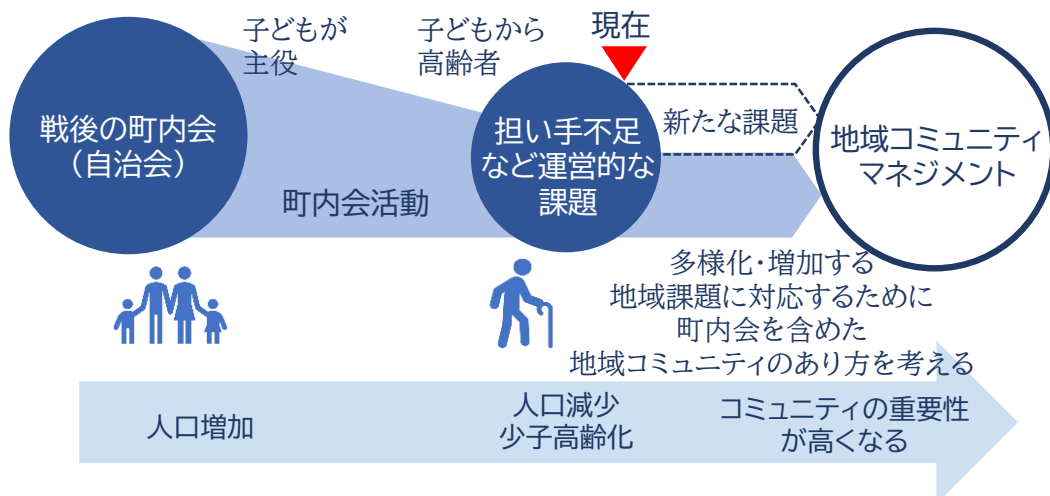
■地域運営組織としての町内会の現状



町内会を中心とした地域コミュニティを元気に！

- 町内会を「豊かな暮らしのサービスを提供する組織」と考えると、町内会を中心とした地域コミュニティを元気にしていくことが重要となります。

■地域コミュニティの重要性



町内会を元気にする

4つの視点



4つの視点に沿って町内会を元気にするヒントをご紹介します

- 地域コミュニティの中心を担う町内会を元気にしていくためには、
①進め方、②活動、③組織運営、④情報発信の4つの視点が大事になります。



町内会のお悩み
会員のニーズがわからない
ビジョン(目指す姿)が必要



1
進め方
のヒント
プロセス




この表紙のページへ



町内会のお悩み
町内会だけで活動するのは大変
地域への愛着が薄れている



2
活動
のヒント
コンテンツ



この表紙のページへ



町内会のお悩み
役員負担が大きい
引継ぎがうまくいかない



3
組織運営
のヒント
マネジメント




この表紙のページへ



町内会のお悩み
町内会が知られていない
若い世代が必要を感じていない



4
情報発信
のヒント
インフォメーション



この表紙のページへ

1

進め方 のヒント

プロセス

ヒント

ワークショップで課題を共有

町内会の現状や課題をワークショップなどで共有しましょう。当事者意識をもって話し合いやアンケート調査などを行うことで、解決に向けたアイデアなどが挙げられるかもしれません。

会議とワークショップ

活発な意見交換やアイデアを出すには、参加者が手を動かしながら、自由に発言できるようなワークショップを開催してみても効果的かもしれません。

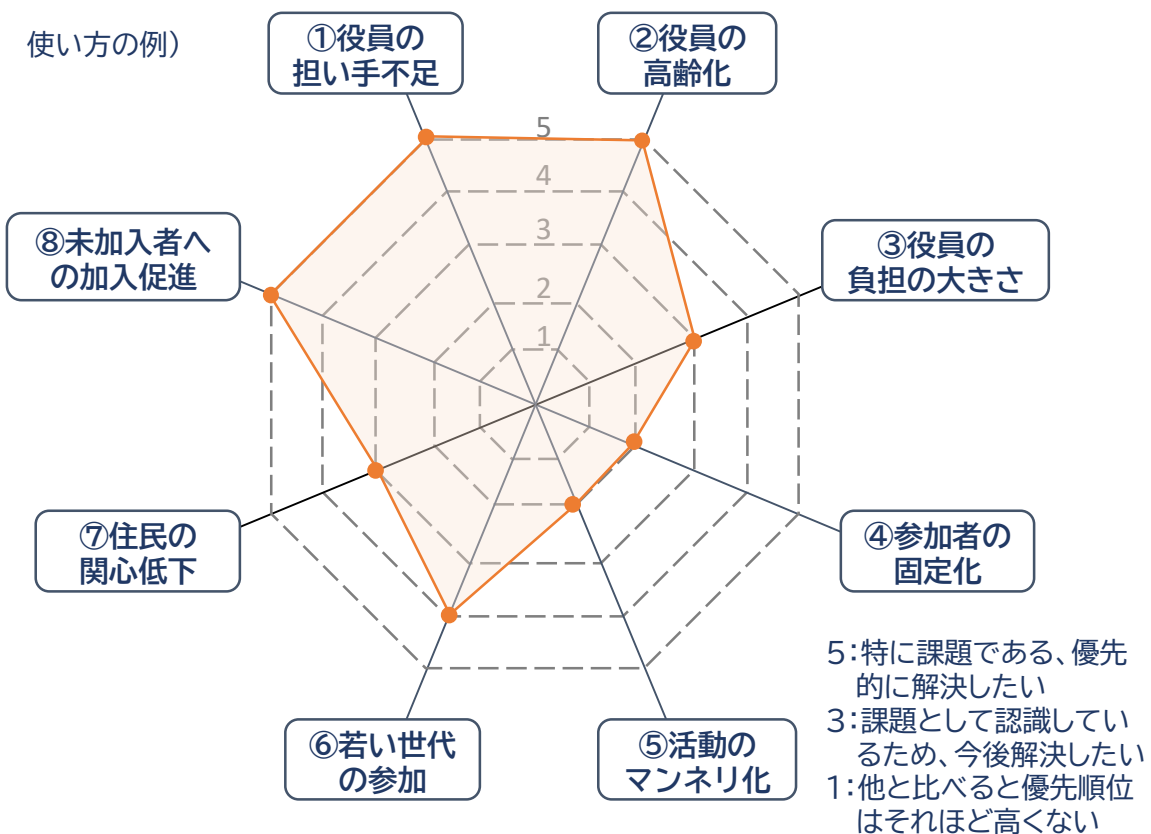


	会議	ワークショップ
目的	・情報の伝達 ・意思決定(合意形成)	・意見交換 ・アイデア出し
やり方	・議長が議題を提案し、意見を発言する ・フォーマルな雰囲気	・模造紙やふせんを使用しながら、自由に発言 ・カジュアルな雰囲気
形式	・ロの字などで大きなテーブルを囲む ・議長が前で進行する	・5~6人でテーブルを囲み、距離感が近い ・進行役もテーブルにつく

●レーダーチャートで課題を見える化

町内会の主な課題を軸としたレーダーチャートを用いて、町内会にとって課題であると感じていることを見える化してみましょう。役員会などで、それぞれの役員から見た課題について話し合ってみても効果的です。

使い方の例)



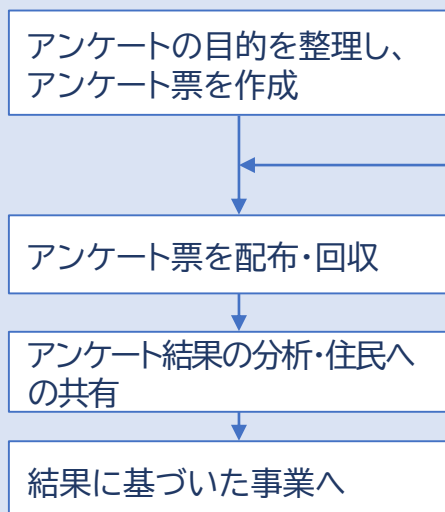
POINT

●若い世代など新しい参加者から意見を聞くときは、かしこまった会議の場よりもワークショップの方が気軽に参加してもらえます。

ヒント 住民を対象としたアンケート調査でニーズを把握

住民を対象としたアンケートを配布し、町内会の事業の参加経験、継続のニーズを調査します。今後の役員としての活動の意向を聞くことで、担い手の発掘につながります。

アンケート調査の流れ(例)



●個人情報保護について

アンケートの回答は個人情報にあたるものも含まれている場合は、回収時は返信用封筒に入れ、封を閉じたものを回収すると良いでしょう。

●回収方法について

回収方法にはいくつかの方法があります。町内会にとって負担が少なく、かつ回収率の高いものを組み合わせると効果的です。

- ・班長が各戸を回る
- ・班長宅に回収(回答者が提出)
- ・会館などにポストを設置
- ・コンビニや商店などに協力してもらい、回収ポストを置いてもらう

事例

町内会区域全戸へのアンケート票の配布(千歳市住吉北町内会)

- ・ 回覧板にアンケート票を添付し、町内会会員にアンケート調査を行いました。
- ・ 同時に未加入世帯や若い世代も回答しやすいようにWEBでのアンケート回答フォームのQRコードを付けた町内会活動の周知のためのチラシも配布し、多世代の意見を聞きました。




ご自身の町内会でも活用できるフォーマットを用意しています。

このヒント集の参考資料にフォーマットを添付していますので、ご活用ください！

千歳市町内会連合会ホームページでもWordデータを配布しています。

POINT

- WEBでも回答できるようにしたり、アンケート票の提出先にはコンビニなどに協力してもらおうと若い世代の回答率がUP

ヒント

ビジョンの検討および活動の再構築

さまざまな事業に取り組んでいる町内会だからこそ、それらの事業がなんのためにやっているのかを明確にすることが重要です。

事例

役員会でワークショップを実施して事業の見直しを検討(千歳市信濃2丁目町内会)

- 信濃2丁目町内会では、高齢化や空き家の増加など、これからの地域が抱える課題を見据えて、目指す姿をまとめたビジョンを作成し、ビジョンをもとに、具体的な取組を考えていきました。

●信濃2丁目町内会が目指す町内会像



●ビジョンを受けた事業の見直し

ビジョンをつくり町内会としてこれからのなにを重視して事業に取り組んでいくかを明確にできたことで、将来を見据えた事業の見直しを行いやすくなりました。

将来像

周辺の町内会及びPTAやNPOなどの団体との連携によるネットワーク型の町内会運営へ

- 夏祭りを近隣町内会と合同で実施
- 市内NPOと連携した子ども食堂の実施(検討中) など

方針

高齢化に対応する見守り、福祉の強化

- 家族カードの配布(見守りを必要とする世帯の調査)
- 世帯調査に向けた個人情報規約の作成
- 見守りの体制の検討 など

POINT

- 10年先の社会情勢やライフスタイルの変化などを見通し、そのときに町内会としてどのような取組が必要なのかを具体的に描くことが大切です。

2

活動 のヒント

コンテンツ

ヒント

気軽に取り組むことができる防災活動

もしもの時の災害対応は、地域コミュニティの力が重要になります。防災活動をつうじて、若い世代に町内会に関心を持ってもらいましょう！

事例

さまざまな災害時対応、防災活動

- 各地域の町内会では、すでにさまざまな災害時対応、防災活動に取り組まれています。
- 若い世代や初めて参加する方も参加しやすい活動をご紹介します。

災害図
図上訓練
(DIG)

DIGで用意するもの

- 大きめの町内会地図
- ペン、ふせん
- 災害情報の想定シート(災害の種類(地震・水害)、ライフラインの状況、被害状況など)



DIG(ディグ)は、参加者が地図を使って行う災害訓練ノウハウです。

Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字をとって名付けられています。地図とペンを用意して、楽しく取り組むことができます。

北海道町内会連合会のホームページで、DIGの手法が紹介されています

URL <http://www.d-choren.or.jp/ep02.html> 北海道町内会連合会 DIG で検索！

避難所
運営ゲーム
(HUG)千歳市の
事例

HUG(ハグ)は、Hinanzyo避難所、Unei運営、Gameゲームの略称です。

避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを使用します。避難者に見立てたカードを適切に配置できるか、避難所で起こるいろいろな出来事への対応などを模擬体験するゲームです。

HUGの詳細な手法は下記ホームページか北海道危機対策課または、お近くの振興局へ

URL <http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp> 北海道庁 Doはぐ で検索！

防災
ワーク
ショップ

POINT

- 災害対応や防災活動は、世代を問わず会員のニーズが高いテーマです！
- 集合住宅とも連携して実施できるテーマです

ヒント

地域ぐるみで、子ども・子育てを支援

子育て世代が多い町内会では、「子育てサロン」や「子ども食堂」などを実施することで、若い世代に参加してもらえる可能性があります。

子育て中の父母、子ども達が主な対象になりますが、そこから町内会を知ってもらい、さまざまな活動に参画してもらえる可能性があります。

事例

子育てサロン

- 子育てサロンは子育て世帯からのニーズが高く、町内会が主催の場合、参加者にとっては住居からも近いいため、利用しやすい特長があります。



千歳市の事例



▲あそぼうDAY(みどり台北町内会)

町内会青年部が主体となり、地域の同世代の子どもと保護者が交流して地域みんなで子育てしていくつながりづくりを目的とした『あそぼうDAY』が行われています。

気軽に足を運べる交流の活動が近くにあるため、子育て中の住民の方も満足しています。

事例

しなの通学合宿(千歳市信濃2丁目町内会)

地域の小学生が町内会館に泊まる合宿生活を通じて協力や感謝などの気持ちを学ぶ「しなの通学合宿」が開催されています。合宿では、レクリエーションを行ったり、食事の準備、宿題に取り組むなど、子どもたちが協力して生活を行います。

町内会、信濃小学校、小学校PTAや近隣の中高校生、大学生が協力によって開催され、地域の交流のきっかけとなっています。



小学生のときから参加していて、大学生になった今は、参加する小学生たちのお世話をするスタッフとして参加しています。この取組が続いていくと嬉しいです。

地区内に住む大学生



千歳市の事例

POINT

- 子育て支援の活動はニーズがある一方で、町内会だけで行うことは負担になる可能性があります
- 町内の学校や学生、活動団体とつながりながら取り組んでみましょう！

ヒント

ママトモサロン

「子ども」や「子育て」は、子育て世代の関心を得やすく、町内会と子育て世代が協力して取り組むことができるテーマの一つです。

子育てをしているお父さん、お母さんたちのネットワークと連携

千歳市では子どもが増えてきており、子育てをするお父さん、お母さんも増えてきています。一方で、核家族化により親と同居する子育て世代は減ってきており、さらに親族が近くに住んでいない場合などは、子育てについて相談できる人がおらず、心細い思いをしている人も増えてきています。

また、子育て世代からは、「これから子どもが育っていく地域の安全、安心が気になる」という声がよく聞かれます。

子育てをしているお父さん、お母さんたちとうまく連携することで、より活発な町内会活動につなげることができます。



TOPIC

若い世代は、どう思っているの？ ※2019年度開催の意見交換会より

地域で子どもを見守って欲しいです。



ご近所のお母さん同士のつながりはあります。



引っ越してきたばかりだと、子育ての情報も入らず、心細かったです。



事例

「子育て」をテーマにした同年代のネットワークづくり(札幌市北野まきば町内会)

- 安心して子育てできる町内会を目指し、地域や町内会に目を向けて活動に参加してもらうきっかけとして、「子育て」をテーマにした同年代のネットワークをつくることを検討。
- 地域内に住む子育て世代のママさんたちを対象に「ママトモサロン」を開催しました。



町内会とお母さんたちとのネットワークができ、役員の担い手の発掘にもつながりました！

- 参加したママさんのLINEグループができ、町内会行事のお知らせやお手伝いの募集の連絡などにも活用されている。
- ママトモネットワークの中から青少年育成部の役員が選出されている。

お母さんたちと連携するためのポイント

- 積極的に声掛けをしてもらえそうなママさんを中心に参加者を募集。
- 詳細な企画はママさん同士で自由に企画してもらう。

POINT

- SNSなど連絡を取りやすい手段で、サポーターのネットワークをつくっておくと、気軽なお手伝いにつながりやすい。

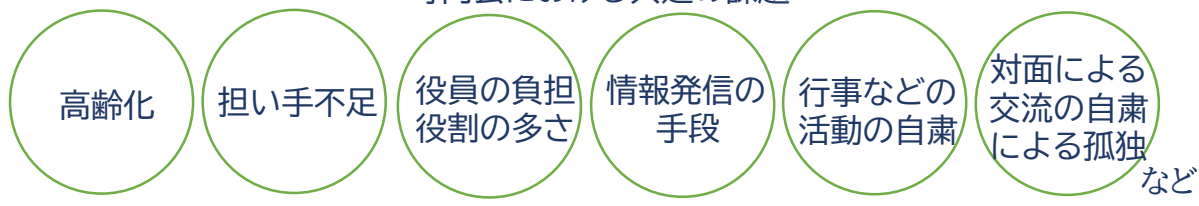
ヒント

「Withコロナ」の町内会活動

戦後の町内会(自治会)発足時から今日に至るまでに、人々のライフスタイルは多様な形に変化してきました。これに伴い、加入率低下や担い手不足などが、多くの町内会における共通の課題になっています。

また、令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本全体が急速に新たな暮らし方に対応せざるを得ない状況となりました。町内会においても、その多くが活動を自粛するなど、これまで当たり前できていたことが困難になっています。

町内会における共通の課題



だからこそ、Withコロナでもできることを考えていきましょう！

今後も、新型コロナウイルス感染症の影響は続くことが想定されます。そのため、これからの町内会においては、Withコロナの考え方のもと、町内会活動の見直しを行いながら、新たな手段を取り入れることや、活動の取捨選択をすることで、人々の暮らしを守っていくことが大切になっていきます。



Withコロナでの町内会活動のポイント

●暮らしに大切な活動を主軸に据えましょう

- ゴミ集積所の管理や街灯の管理、資源回収、環境美化などの、暮らしに大切な活動を基本にしながら、これからの町内会では何をすべきか考えましょう。



●多様な情報共有の手段を用意しましょう

- 対面でのやり取りが難しくなっている状況だからこそ、回覧板だけではなく情報共有の手段を考えていきましょう。



●Withコロナだからこそ起こる課題にも目を向けましょう

- リモートワークを導入する現役世代や思い切り遊べなくなった子どもたちなど、孤独やストレスを感じやすくなる方が増えると予想されます。感染症対策をしっかり行いながら、定期的に交流の場や機会を提供し、話しやすい関係づくりを進めましょう。
- Withコロナでは、特に高齢者にとって、交流が減ることや暮らしが不便になることなどが多くなると予想されます。だからこそ、お互いの暮らしをサポートし合うことも大切になります。



POINT

- Withコロナでは、コロナ禍だからこそできること、やらなくてもいいことを考え、町内会活動の棚卸しを行うことも必要になります。
- SNSなどを活用した情報発信やコミュニケーションなど、新しい交流の手段を取り入れながら、地域で助け合える関係づくりを進めましょう。

ヒント

「Withコロナ」の町内会活動

課題解決に向けたWithコロナの取組の例

アンケート調査

- 会員及び住民へのアンケート調査
- 担い手発掘
- ビジョンの策定

活動見直し・マニュアルづくり

- アンケートに基づいた活動の見直し
- 活動マニュアルや交代しやすい体制づくり

多様な情報発信手段の検討

- ホームページ回覧板など、オンラインを活用
- 掲示板など、特定の場所での情報発信など

LINEやオンライン会議の活用

- LINEやZoomなどを連絡手段にして、役員の負担を軽減する
- 若い世代など誰でも参加しやすい体制づくり

防災訓練

- 緊急時は分散避難が必要
- 感染対策を徹底した避難所開設訓練

屋外の活動

- 密を避けた屋外の活動
- 小グループに分かれた野外活動
- 既存の活動を楽しめるように見直す

コミュニティの場・機会づくり

- 1人暮らしの高齢者の見守りや買い物のサポート
- 少人数でのイベント

外部団体・組織との連携

- 町内会だけでは難しい新たな取組へ挑戦
- 若い世代との関係づくり

外部団体・組織との連携事例 →3-1へ！

多様な情報発信手段の検討 →4-1へ！

LINEやZoomを活用している事例 →4-2へ！

事例

活動マニュアル・屋外の活動・コミュニティの場づくりの事例

「子どもたちのふるさとづくり」活動の実施(千歳市みどり台南町内会)

- 町内会のビジョンを定め、P(Plan)D(Do)C(Check)A(Action)サイクルによる事業の評価を行いながら活動をしています。
- コロナ禍でも「子どもたちのふるさとづくり」のためにできることを検討し、感染症対策に配慮しながら活動を実施しています。



「ゴセン川蛍の里プロジェクト」

- ゴセン川の環境を整え、蛍を呼び戻すプロジェクト。川の現地調査のほか、蛍のエサとなるカワナナの飼育を地域の子供達にお願いしています。

「ミドリシアター」

- コロナ禍で遠出できない子どもたちへ向けた町内会館での映画上映会。町内会館の広い部屋を使用し、少人数で感染症対策を徹底して開催しています。

POINT

- Withコロナの取組事例は、動画でもご紹介しています。ぜひ、千歳市町内会連合会公式YouTubeチャンネルからご覧ください。
(URL:https://www.youtube.com/channel/UCicLKvIOV_O_TFDWayoqvtdA)



3

組織運営 のヒント

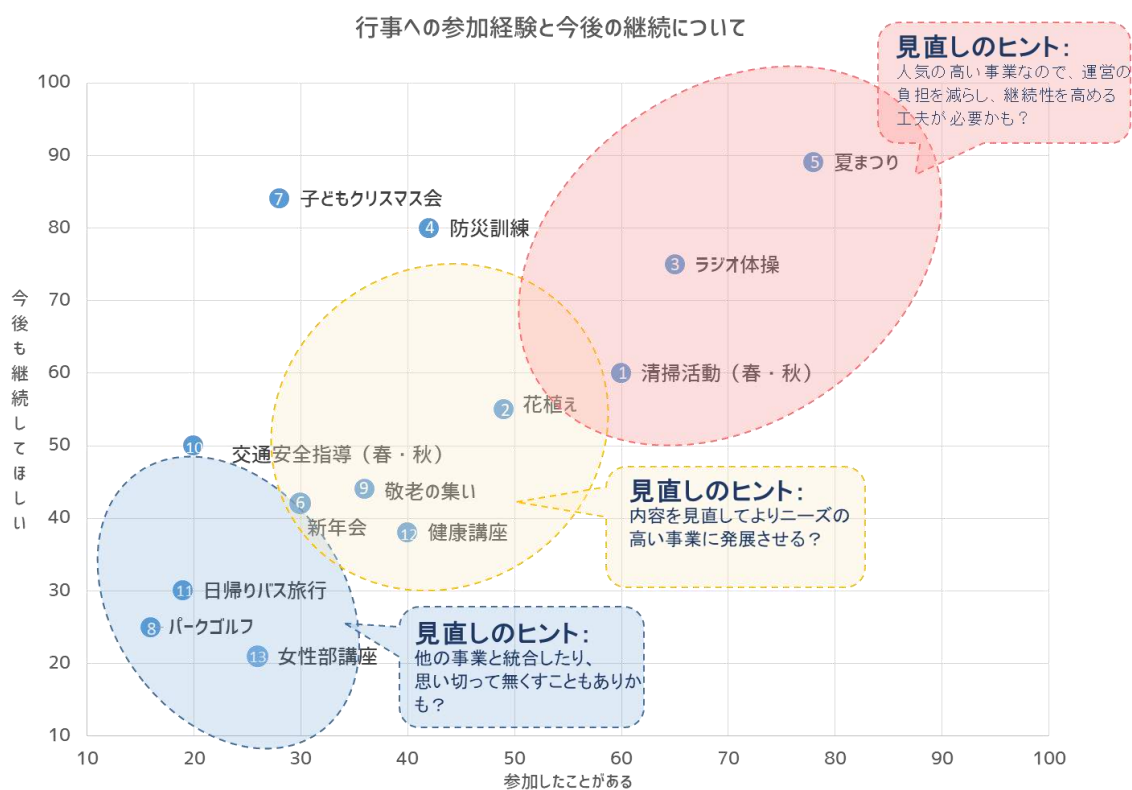
マネジメント

ヒント

事業の見直し

役員の負担が大きかったり、住民ニーズが低い、参加者が固定化されている事業については、内容や実施時期、体制を見直して、統合・廃止、または無理なく続けられるやり方を検討してみると効果的です。

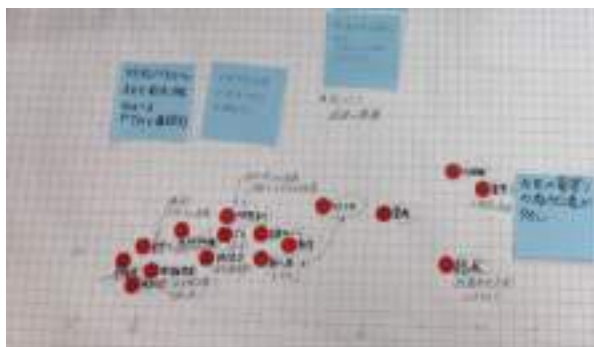
●仮定の町内会におけるアンケート結果からの事業の見直しのヒントの例



事例

アンケート調査から事業の棚卸し⇒役員の負担の軽減へ(千歳市住吉北町内会)

- 住吉北町内会では、住民の事業への参加経験と継続の意向をアンケートで調査しました。その結果をもとに事業の棚卸しを実施しました。



POINT

- 負担が大きかったり、住民ニーズの低い事業は思い切って試しに一度やめてみることも勇気です。

ヒント

会議の時間・回数の見直し

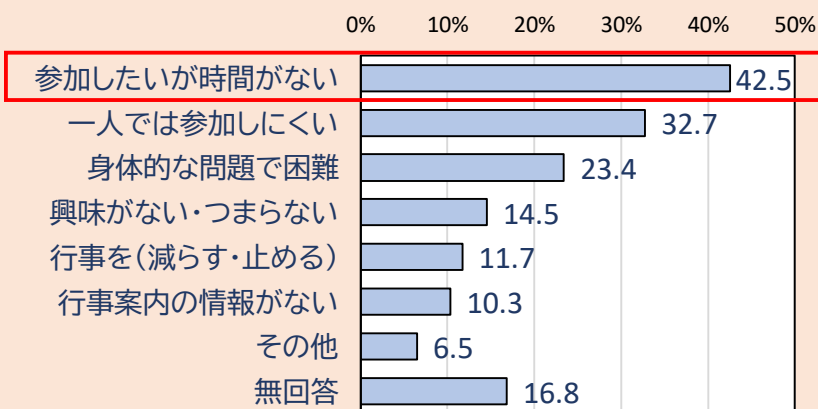
働き世代や子育て世代など、多様なライフスタイルに合わせて、無理なく町内会活動に参加できるように会議の時間や回数を見直すことも効果的です。

「参加したいが時間がない」という回答者が4割！

千歳市内の町内会が住民に向けて行ったアンケート調査では、町内会活動に参加できない理由について、「参加したいが時間がない」と回答された住民が概ね4割でした。

具体的に都合の良い時間帯や曜日などをアンケート調査や聞き取りなどで把握し、参加者に合った時間帯・頻度を設定することで、さまざまな人が活動しやすい町内会に近づきます。

●町内会活動の参加できない理由(千歳市内の町内会のアンケート結果より)



〈自由意見※一部抜粋〉

- ・仕事の休みが合えば何か手伝いはできる。
- ・町内会の役に立ちたい思いはあるものの、仕事が優先され、なかなか時間が作れない。
- ・今、共働きが多いので時間が制限される。短い時間の行事が良いと思います。

TOPIC

若い世代は、どう思っているの？ ※2019年度開催の意見交換会より

時間的に参加が難しいことも多いです。



町内会は必要と思いますが、活動の時間が合いません。



日中の昼間の活動は働いているとなかなか参加できません…



事例 会議に参加できなかった方へLINEグループを用いた情報共有(千歳市みどり台北町内会)

- ・みどり台北町内会では役員のLINEグループをつくり、情報共有を行っています。
- ・仕事や家庭の事情で会議に参加できなかった役員には、LINEグループで当日の資料などを共有しています。
- ・会議に参加できなくても、フォローできる体制をつくることで、忙しい方でも役員として活動できる環境を整えることも大切です。



POINT

- 参加しやすい曜日・時間はライフスタイルによってさまざまです。アンケートや聞き取りなどで、柔軟に対応できるようにすると良いです。

ヒント

サポーター制度の設置と活用

サポーター制度は気軽に町内会と関われる第一歩として有効な手段です。サポーターに登録してもらうことは、今後の役員の担い手となり得る人材を発掘する点でも効果的です。

サポーター制度とは？

サポーター制度は、役員とは別の町内会活動のお手伝いを担ってくれる住民を登録し、行事の運営スタッフなどを、無理なく手伝ってもらう仕組みです。

現役世代なども無理なく時間の都合が合うときにだけでも町内会活動に参加できるため、若い世代の町内会参画のきっかけとして、取り入れる町内会が増えています。



サポーターに活躍してもらったちょっとした工夫

気軽に
参加しやすく

若い世代も目を引くチラシなどで、サポーターの募集をかけてみましょう。

無理強い
しない

あくまでサポーターの暮らしや興味のあることを優先し、負担にならないように配慮しましょう。

企画から
参加

企画段階から参加してもらえると、今後の役員の担い手につながりやすいです。

**旭山町内会
活動サポーター募集！**

あなたもサポーターになりませんか？

活動サポーターとは、「できる範囲でできることだけ」町内会活動や運営をお手伝いいただく制度です。
そのため、無理なく家事や仕事の合間に参加いただけます。
子どもが幼稚園までで親の負担が軽減されるのに、楽しく暮らせる暮らしのために、健康長寿（花壇整備や清掃）や子ども向け行事をはじめとする多岐分野の活動への参加をお願いします。

任期や年齢制限などございません。
※サポーターは町内会役員ではありません！

【お問合せ】旭山町内会会長 氏家 011-561-5511

●活動サポーターの活動内容（一例）

行事企画への参加 ・既存行事や新規事業の企画 ・アイデアの提供 など	行事準備への参加 ・会議資料の作成 ・備忘録作り、貸出し ・参加申し込みなどの ・会場設営 など
行事運営への参加 ・下記行事の当日運営 ・当日の受付、司会進行 ・写真撮影、記録 など	情報発信への参加 ・チラシの作成 ・ツイッターなどSNSで情報発信 など

旭山町内会では以下の活動を行っています

町内会の集い 健康長寿活動 子どもの集い 町内会議員（専・副）
 健康・花植え 運動会 敬老会 新年度 総会

※上記は一例です。それぞれのライフスタイルや得意なこと、できることに合わせて活動いただけます。

事例

サポーター制度から自立した若い世代のネットワークへ(札幌市共栄第三町内会)

- サポーター登録の制度である「活動協力員制度」を設置し、町内会のサポーターを担ってもらっています。
- 活動協力員のなかでも、有志の若い世代を中心にした町内会の「サマーフェスタ」を企画から運営まで活動協力員にお任せしています。
- 活動協力員同士のネットワークができ、交流が活発に行われることで、若い世代も楽しく自主的に活動することができています。



会長が協力員登録への声かけで重視したポイント

- 「仕事と家庭が第一」と割り切る
- 将来は、会長及び役員の担い手として活動してもらう
- 若い人の意見を尊重する(イベントを任せるなど)
- 会議出席は代理でも可。子連れでの参加も可

参加しやすい組織づくりで、30名以上の子育て世代の方がサポーターに

※千歳市のみどり台北町内会でもサポーター制度を実施しています

POINT

- SNSなどの連絡を取りやすい手段で、サポーターのネットワークをつくらせておくと、気軽なお手伝いにつながりやすい。

ヒント

任期や引き継ぎの仕組みの明確化

役員の任期や引き継ぎの仕組みをしっかりとしておくことで、「担い手が見つからないと何年も役員をやらされるのではないか」という懸念を取り除くことにつながります。

役員がきちんと交代できるルールをつくりましょう

●役員任期のルール

役員の任期を決め、入れ替わる環境をつくりましょう。持ち回りルールなどで役員を経験してもらうことが大切です。

●役員複数制

役員の負担を軽減するために役員の複数制で代替わりがしやすいようにします。前任者と新役員が重複する期間を設けることができ、精神的負担が軽くなります。

役員は複数制にして重複期間を設けることで継続性を確保できます

4年間

4年間

4年間

4年間

●役員引き継ぎの仕組みのパターン

	メリット	デメリット
役員選考委員制度	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の誰もが役員を担う機会となる。 ・選考委員が選ぶため公平となる。 ・候補者を抽出しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員選考委員の責任、負担が大きい ・役員選考委員が役員を引き受ける。 ・制度に理解がないと不信感が生じる。
輪番制(持ち回り)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の誰もが役員を担う機会となる。 ・役員を担う時期に予測がつきやすい。 ・公平性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔が見える関係であることが必要となる。 ・役員に選考された方のフォローが必要である。
自薦・他薦制度(声掛け)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動のモチベーションが高い。 ・顔が見える関係同士であれば、合意形成が図りやすい。納得しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔が見えている必要があり、その関係づくりが必要となる。 ・後任が見つからない、人材の発掘が難しい状況が多い。 ・任期が曖昧になりやすい。
くじ引き制度	<ul style="list-style-type: none"> ・公平性がある(理解を得られていれば)。 ・最終的な選出手法として用いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選出された人の生活事情などを考慮しづらい。 ・突然役員選出されてしまうため、役員の仕事に対する準備や引き継ぎが困難。

POINT

●任期を終えれば、別の人に引き継ぐことができるという安心できるしくみをつくっておくことが必要です。

ヒント

役員のお仕事マニュアルづくり

役員の手不足の背景には、そもそも役員がどのような仕事をしているのか整理されていないことがあります。お仕事のマニュアルをつくることで、役員交代時もスムーズに引き継ぎをすることができ、担い手への声掛けにも役立ちます。

マニュアルの作成はわかりやすく、見やすく

役員の手不足確保のためには、まず役員の仕事がどのようなものなのかを見える化すると効果的です。

また、マニュアルをつくることで各部の役員の仕事が棚卸しすることができ、事業の見直しにもつながります。

マニュアルは役員だけで使用するのではなく、できれば回覧板などで住民みんなに共有するとよいでしょう。

●マニュアルのポイント

- 各部の仕事内容を整理する際には、具体的に準備を始める時期や気を付けるべきことなどのメモも記載しておくことで引き継ぎに役立ちます。
- その部・役職は町内会の中でどのような役割なのかを記載しておくことで、やりがいやモチベーションにつながります。

部ごとに紹介すると
分かりやすい！



写真で活動の様子を
イメージしやすく！

イラストを用いると
楽しく読みやすい



- POINT**
- 作成したマニュアルは回覧板などで住民に共有しましょう。
 - 写真など様子をイメージできるものを掲載すると分かりやすい！

ヒント

若い世代のネットワークとの連携

地域コミュニティにおける町内会の役割が大きくなってきている一方で、町内会組織は役員の高齢化、担い手不足により縮小傾向にあります。これらの状況に対応しながら、Withコロナにおける町内会の新たな取組を実践していくためにも、若い世代が中心となっている組織やNPOなどの団体と連携して、これからの町内会について考えてみましょう。



TOPIC

ちとせの輪って？

「ちとせの輪」は、若い世代同士のつながりをつくり、地域活動への若い世代の参加・参画の機会をつくっていくため、市町連の活性化支援事業を進める中で発足したネットワークです。

千歳市のまちづくりや地域活性化などに興味がある20～40代のメンバーが参加中。それぞれの職業・趣味、特技などを活かして、できること、やりたいことをベースに地域と連携し、様々な活動や取組を行っています。

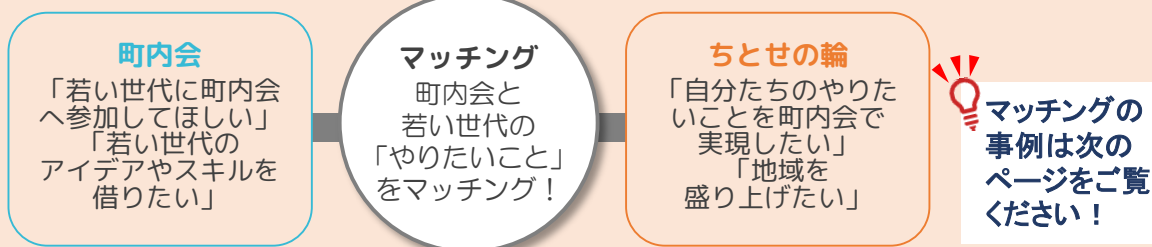
「ちとせの輪」と連携したWithコロナの町内会活動

ちとせの輪の活動は、町内会が普段感じている地域の課題や困っていることについて情報収集し、メンバーそれぞれがやってみたいこと、できることをマッチングさせながら進めています。

Withコロナにおける町内会を考えるうえでは、ちとせの輪のようなネットワークとの連携を行うことも考えてみましょう。

メンバーにはこんな方が！

- ・イベントの企画、運営が得意な方
- ・環境問題に取り組んでいる方
- ・飲食店やコミュニティスペースの運営をしている方 などなど



POINT

- 持続可能な地域コミュニティ運営には、多様な主体が連携する体制が必要不可欠です。
- ちとせの輪と取組を考えてみたい、相談してみたいことがある、という町内会・自治会の方は市町連事務局(0123-49-7100)までご連絡ください。

ヒント

若い世代のネットワークとの連携

TOPIC

町内会×ちとせの輪ではこんなマッチングが行われました

事例

ちとせの輪×末広中区町内会のマッチング
「2つのアイデアから考える！町内会の課題」

ちとせの輪メンバーの「町内会×ゴミ拾い大会×マルシェ」や「心理学講座をしたい」という提案を聞いた末広中区町内会の会長が、自身の町内会で課題だと感じている「ポイ捨ての多さ」と「コロナ禍による高齢者の孤独」の解決に向けての取組になることを期待してマッチングしました。

実際にちとせの輪メンバーとまちあるきを行い、ポイ捨ての実情の調査や町内会に住んでいる方と交流しながら、どんな取組を進めていくかの話し合いが進められています。



事例

ちとせの輪×清水町連合会のマッチング
「家でも笑顔に！『町内会のテレビ番組』企画」

コロナ禍により、家に閉じこもっている高齢者が孤独を抱えてしまうことを課題だと感じている清水町連合会。そこで、イベントの企画や主催を務めたことがあり、映像作成などを得意とするちとせの輪メンバーとマッチングして、オンラインでのコミュニケーションを取り入れるきっかけづくりが必要だと話し合い、まずは清水町の一部の町内会を対象に企画することを決めました。

町内の方が家にいながら知人の様子を楽しく知ることができるよう、動画配信サイトで作成した動画、『町内の方だけが出演するテレビ番組』を配信することを目標に、町内のネット環境調査を進めながら、どんな番組にするかを考えています。



事例

ちとせの輪×みどり台南町内会のマッチング
「町内会のために、若い世代の活動を支援！」

みどり台南町内会では、コロナ禍でもできることを考え、積極的に実施しています。また、町内会活動に若い世代の力が不足していることを課題に感じています。そこで、町内会のためになるのであれば、若い世代がしたいことを積極的に支援をしたいという思いのもと、ちとせの輪メンバーとマッチングしました。

今後は、ちとせの輪メンバーから提案された、楽しみながら環境問題について触れ、地域住民同士での交流などを促したいというアイデアを実践するために、地域の美化活動と連携しながら活動を進めていく予定です。



その他にも複数の町内会とのマッチングが進んでいます！

POINT

●若い世代と連携して活動していくには、町内会の現状と課題、求めていることなどを伝え、相手の活動や興味関心、アイデアを取り入れてみましょう。

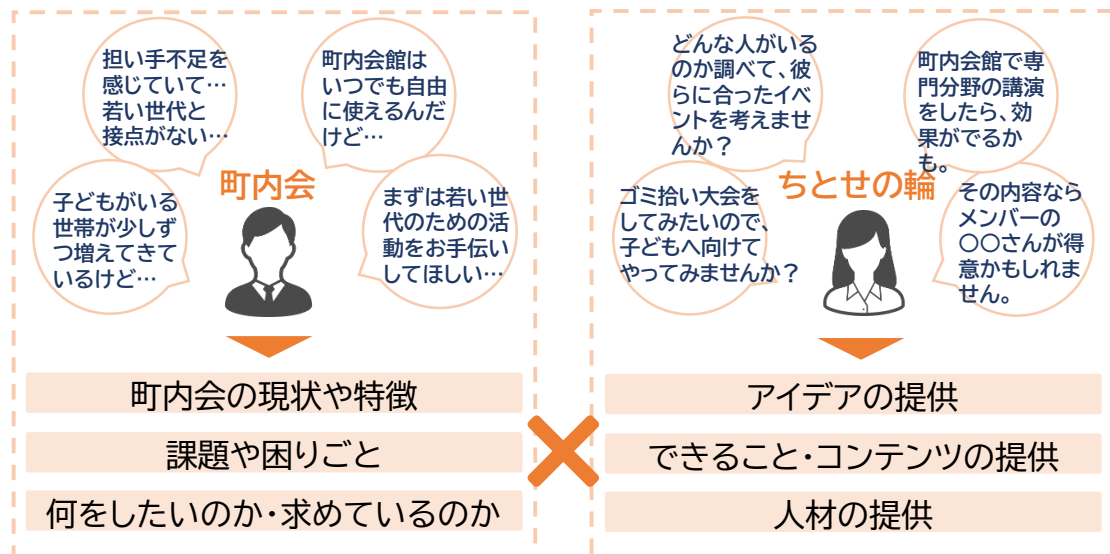
ヒント

若い世代のネットワークとの連携

TOPIC

町内会×ちとせの輪のマッチングにおけるポイント

千歳市内の町内会の多くが、同じような課題や悩みを抱えていますが、その背景は町内会ごとに少しずつ異なります。マッチングでは、町内会の課題や悩み、活動などについて細かく話すことで、若い世代から町内会の特性に合わせた提案が行いやすくなります。



その他にも、若い世代がやってみたいこと、関心があることを聞いて、自分の町内会で取り入れることができないかを考えてみることも、マッチングの第一歩となります。

ちとせの輪



自分は「環境問題」や「コロナ禍による孤独」に関心があります。普段、自分でも自宅付近のゴミ拾い活動を行っています。町内で暮らす方々に、それぞれ考えてもらうきっかけとして、「ゴミ拾い大会」をやりたいです。

その提案に興味があります！



町内会

うちの町内会もポイ捨てが酷かったな…若い世代との交流のきっかけになるかも…

TOPIC

若い世代と交流してみて、どう思ったの？(町内会)

若い世代のアイデアに気づかされるが多かった。

若い世代の活動を積極的に支援したい。

町内会では難しいと思っていたことに挑戦してみようと思えました。

町内会と交流してみて、どう思ったの？(若い世代)

直接お話を聞くことで、これまで知らなかった町内会の役割や良いところがわかりました。

町内会の課題や特徴に合わせた企画と一緒に考えていきたいです！

POINT

- ちとせの輪の目的やメンバーの提案などは「ちとせの輪公式ホームページ」に掲載しています！マッチングの申込フォームもありますので、ぜひご覧ください。
(URL: <https://wa.chitose-choren.jp/>)



4

情報発信
のヒント

インフォメーション

ヒント 町内会を知ってもらうパンフレットを配布

町内会の役割や活動内容を伝えるパンフレットを作成しましょう！

全世帯に配布することで、特に若い世代や未加入者に町内会を知ってもらうきっかけになります。

パンフレット作成の流れ

紙面に掲載するものを検討

ごみ出しルールや会費の使い道など、暮らしに役立つ情報を掲載する、見てもらいやすくなります。

○事業の年間カレンダー

○各部の紹介

○地域の紹介 など

紹介するための文章などを作成

各部の部長さんなどに文章作成を依頼。掲載する写真をあつめます。

紙面の作成・レイアウト、配布

文章は少ない方が見やすくなります。

町内会に加入していない世帯も含めて、できる限り全戸に配布しましょう。

事例

若い世代や未加入者へ配布(札幌市鉄西第13町内会)

- ・パンフレットがあることで、未加入者への声掛け(勧誘)がしやすくなりました。
- ・パンフレットの配布とともに行った交流イベントでは、役員の担い手発掘にもつながったそうです。



千歳市町内会連合会でも「町内会入会促進チラシ」を作成しています。

このヒント集の参考資料にチラシを添付していますので、ご活用ください！

POINT

- 「町内会としての思いや活動の目的」「活動内容」「会費の使い道」「町内会の範囲MAPおよび防災時の避難場所」「困ったときの連絡先」などを掲載しましょう

ヒント

SNSやホームページで情報発信

若い世代は、スマートフォンでホームページを閲覧したり、情報収集することが一般的です。
SNSを活用した情報発信で、若い世代へ町内会の情報を届けましょう！

主なSNSのサービス

Facebook(フェイスブック)

- ユーザー数は世界一
- 40～60歳代男女ともに多い
- 実名登録のため**信頼性が高い**



Instagram(インスタグラム)

- 写真情報**に特化している
- 10～30歳代の女性が中心
- フォロワーのみにしか情報が届かない



Twitter(ツイッター)

- 手軽さと情報の速さが特徴
- 10～20歳代**の若い世代の利用が多い
- 情報の拡散性はとても高い



LINE(ライン)

- 10～70歳代と幅広い世代が利用
- 主に知人・家族間などの**連絡ツール**として利用が効果的



※SNS: Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略称で、インターネット上で人と人との交流を広げていくサービスのことです。

TOPIC

若い世代は、どう思っているの? ※2019年度開催の意見交換会より

回覧板は見たことが
ないです…(笑)



スマホやSNSの使い方なら、
教えることができます!



胆振東部地震の時、LINEで情報
発信してくれた人がいました



事例

情報発信は若い世代がサポート

- Facebookによる広報担当に、当時高校生だった若い世代の方をボランティア任命し、現在もイベント行事などの情報発信を行っている町内会もあります。



▲みどり台南町内会ホームページ



Facebook
は若い世代が
担当

▲札幌市ライブ
ヒルズ町内会
Facebook



千歳市町内会連合会でも、ホームページを作って情報発信しています。

URL <https://chitose-choren.jp>

千歳市町内会連合会 で検索!

POINT

- Facebook、LINEなど、世代や発信内容に応じたツールを活用
- SNSでの発信・更新は、地域に住む学生や若い世代にサポートしてもらいましょう

ヒント ごみステーションを活用した情報の掲示

地域に暮らす住民は、必ずごみステーションを利用します。

ごみステーションを活用して、町内会のイベントや暮らしに役立つ情報を発信しましょう！

事例

ごみを出すついでに、町内会情報を確認(道外の某町内会)

- ごみステーションのすぐそばに、「掲示板」を設置して情報発信しています。
- 掲示板では、町内会が行う行事・イベントの情報を掲示しています。



町内会の
イベント情報
などをPR



掲示板の維持管理

経年で掲示物も傷むため、少しずつリニューアルしていく必要があります。

- 掲示物を剥がして、クリーナーなどできれいにします
- 次回のメンテナンスを考えて、透明のテープで新たな掲示物を貼ります



メンテナンス前



メンテナンス後

POINT

- ごみステーションに直接掲示物を貼ると、掲示物が傷みやすくなります
- 掲示する内容は、町内会の「行事・イベント情報」のほか、『町内会を知ってもらおうパンフレット』も併用すると、効果が高まる可能性があります

ヒント

みんなで『声かけ』

町内のみんなが暮らしやすいように、まずは挨拶などの声かけから始めて、顔の見える関係をつくることが重要です。

顔見知りから「今度こんなことがあるけれど参加してくれないか？」と声をかけられたら、参加してもいいかなと思うのではないのでしょうか。

声かけの流れ

声かけターゲットを絞り込み
声かけ候補者を役員間で共有しましょう。

- 長く地域にお住まいの方
- 若い世代、子育て、女性グループ
- 地域内外の学校や施設、事業者

声かけ候補者のリストを作成
「いつ」「誰に」「誰が」「声かけの結果」を記載できるリストにしましょう。

声かけを実践！
お手紙や町内会パンフレットもあると、声かけしやすくなります。

TOPIC

若い世代は、
どう思っているの？

「とりあえず来てみれば？」と話しかけてくれた大家さんの一言が、行事に参加するきっかけになりました。

顔見知りになっていないと、子育てや災害時の助け合いができません。

年上の人たちは「怖い」と感じていましたが、話しかけてみると優しく、嬉しかったです！

※2019年度開催の意見交換会より



こんな声かけがあります

知り合いを
誘う

役員でも声かけは大変なことです。
まずは知り合い、顔見知りから町内会にお誘いしましょう。

グループに
誘う

一人で参加・参画する側は、勇気が必要です。
グループごとにお誘いすることも有効です。

テーマ・活動
に誘う

暮らしに身近なテーマ、未加入者のニーズに対応した活動にお誘いすることで、町内会の必要性を感じてもらい、加入につなげましょう。

子育て
支援



防犯・
防災



事業者等を
誘う

見落としているのが、地域の施設や事業者です。
おもいきって加入の声かけをしてみてもいいかもしれません。

未加入者に、こんな声かけどうでしょうか？



ごみステーションは町内会で管理しています。カレンダーをどうぞ。

もうすぐ、お祭りがあります。お子さんと一緒に参加しませんか？

POINT

- 一人で声かけは勇気がいりますので、「知り合いを誘う」「グループに誘う」「テーマ・活動に誘う」「事業者等を誘う」ことが良いでしょう
- 一度お断りされた方にも、諦めずに声かけすることが大切です

ヒント

集合住宅への町内会加入促進

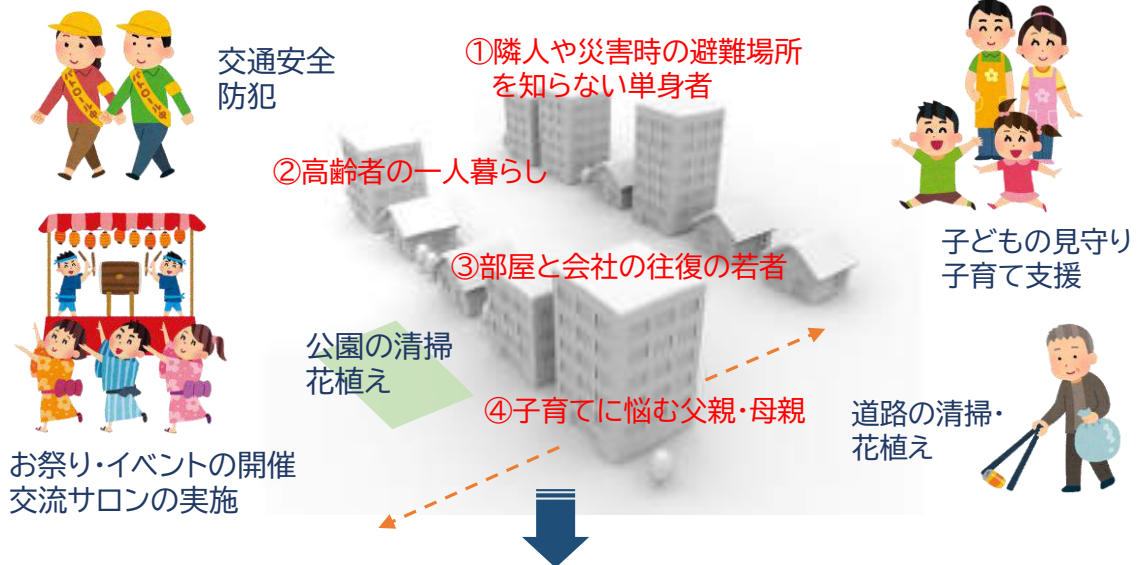
敷地から“外”の安全安心は、町内会が担っていることを伝えましょう

●マンション管理組合 ※法律で設立が義務化

- ・ マンションの建物・敷地管理運営
- ・ 区分所有者は全員所属

●町内会・自治会 ※住民の自由意志で設立

- ・ 住みよいまちに必要な活動(防犯・防災、福祉、親睦など)



町内会に加入することで、これらの方々が居心地よく暮らすことができます
(管理会社にとってもおすすめしやすい物件になる)

「建築中」の賃貸集合住宅へのアプローチ

『建築計画のお知らせ』看板を把握
オーナー、管理会社を確認します。

町内会へ協力を依頼する資料の準備
町内会活動について「協力をお願い
したいこと」、「加入のメリット」を準備。

町内会加入を管理会社に依頼
町内会の紹介と加入についてのご案内を送付(または伺って説明)。

「既存」の賃貸集合住宅へのアプローチ

イベントなどへお誘いし、“長い目”で
町内会に関心をもってもらう
すでに居住者が入居している賃貸住
宅は、全戸一括の加入手続きは難しい
ため、行事・イベントに誘いましょう。

- 未加入世帯にも、チラシやパンフレットを配布
- 町内会の掲示板に情報掲示
- ホームページやSNSで発信

事例

賃貸集合住宅居住者や転入者に向けた加入促進

- ・ マンションやアパート居住者、管理会社に対して、町内会加入の提案や依頼を行っています。
- 千歳市内の町内会でも、取組が行われています！

未広東町内会

花園町内会

POINT

- 賃貸集合住宅は、「声をかけないと」加入につながりません。
- 新築・建替え中の賃貸集合住宅物件に声をかけることが、加入の近道です！

ヒント

多様な情報発信手段

新型コロナウイルス感染症対策や役員の負担軽減、若い世代へ向けた町内会活動のPRなどを目的とした情報発信をより効果的に行うために、時間や場所を問わず情報の送受信ができる、オンラインを活用した手段を考えてみましょう。例えば、FaceBookやTwitterなどのSNSの他にも、ホームページを活用した電子回覧板なども効果的です。

例えば…

町内会ホームページの開設+ホームページ回覧板による発信

市町連では、町内会ごとにホームページを簡単に開設できる機能を提供しています。ホームページ開設に併せて、以下のようなホームページ回覧板を導入するという方法もあります。



●ホームページ回覧板による情報発信の流れ

STEP1

- ①回覧板で回す資料をスキャンし、データ化する
(資料作成者からデータを貰うことができれば、STEP1は省略することができる)



STEP2

- ②データをホームページにアップロードし、投稿する



発展

ホームページに回覧板を投稿したことを、LINE公式アカウントやメールなどで会員に通知する(事例→次ページへ)



- ・市町連で用意しているホームページでは、会員限定で公開できる鍵付きのページと、ネットを利用できる人であれば誰でも見ることができるページを使い分けることができます。
- ・個人情報など、地域内部の情報は会員限定ページに、活動報告などは誰でも見られるページに公開することで、町内会活動の広報にも役立てることができます。

・ホームページにはPDFやWordデータなどのパソコンやスマホ上で編集可能なデータを掲載することができます。これにより、紙のやり取りで発生する行事の申込用紙などの手間を省くこともできます。



POINT

- 町内会のホームページやLINE等のSNSアカウントの立ち上げは、市町連でもサポートを行っています。ご相談ください！

ヒント

多様な情報発信手段

事例

白樺町内会の事例から見るホームページ閲覧板導入のヒント

白樺町内会では、ホームページ閲覧板とLINE公式アカウントを活用した情報発信の実験調査を実施しました。導入の際には以下のポイントが重要になりました。

導入の流れ

〈システムの準備〉

- ①白樺町内会ホームページの立ち上げ
- ②LINE公式アカウントの作成
※メールアドレスが必要です。

立ち上げは市町連もサポートします！



〈発信の準備〉

- ①情報発信の担当者を決めましょう！
パソコン操作ができる人や日ごろからLINEを活用している人はいませんか？
「広報部」を新たに立ち上げたり、情報発信を担う人を決めましょう。

例えばこんな役割分担も…

- ①データの用意
閲覧する書類をスキャンしてデータ化します！
- ②アップロード
データをホームページにアップロードしますね。
- ③お知らせ
LINEでみんなにお知らせすることならできるよ。



〈LINE公式アカウントを拡散〉

- ①LINE公式アカウントの友達登録をしてもらうを増やしましょう！

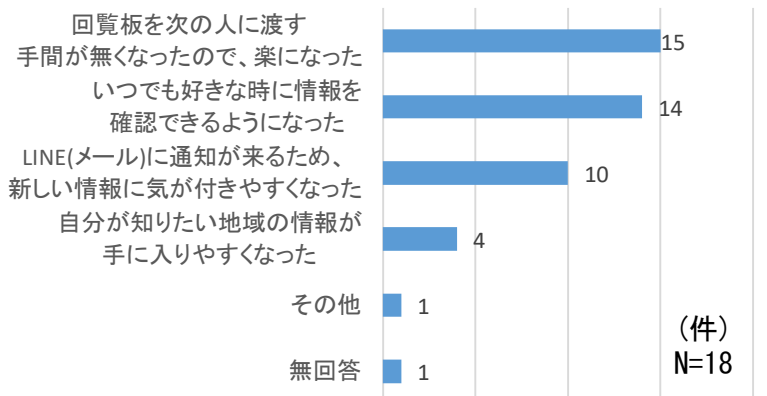
【注意】LINE公式アカウントから会員限定ページを見ることができるので、不特定多数に登録してもらうのではなく、個人を特定できる町内会員の範囲で友達登録を増やしていきましょう。

まずは、友人同士や老人クラブなどの身近なお付き合いのある人から少しずつ増やしていきましょう。



【ホームページ閲覧板とLINE公式アカウントによる発信 モニターアンケート調査結果】

- ホームページ閲覧板の良いところについて18名のモニターに尋ねたところ、「閲覧の手間が省けた」、「好きな時に情報を確認できるようになった」と回答した人がそれぞれ15名、14名となった。



モニターからはこんな声も！

スマホの使い方がわからない高齢者も多いので、まずは紙の閲覧板と併用しては？

前よりもしっかり閲覧板を読むようになりました！

高齢者へ向けたスマホ、SNS講座などがあるときらに見る人が増えそう。

閲覧板のページが多い時に、読みたいページへすぐに移動できる機能があると便利。

POINT

- まずは、パソコンやLINEなどのSNSを普段から利用している人、興味がある人に対して、試験的に導入することから始めてみましょう。

ヒント

多様な情報発信手段

回覧板をホームページなどで見られるようになると、情報をすぐに伝えることができ、感染症対策にもなることから、班長の負担も軽減できます。一方で、町内会組織を見直す必要も出てきます。

広報部の設置

現役世代や子育て世代のなかには、町内会の活動に詳しくない人もいます。町内会について知ってもらうためにも、オンラインを活用した情報発信の手段を考えてみましょう。例えば、町内のパソコンやSNSの操作が得意な人などを募り、「広報部」等を設置して、情報発信を強化していきましょう。

情報の取捨選択

回覧板の中でも、特に大事なこと(周知したいこと)を選んで掲載しましょう。多くの情報を一度に掲載してしまうと、本当に大切な情報が届かなくなってしまうます。

また、大事な回覧は戸別配布の併用も検討しましょう。

顔が見える関係づくり

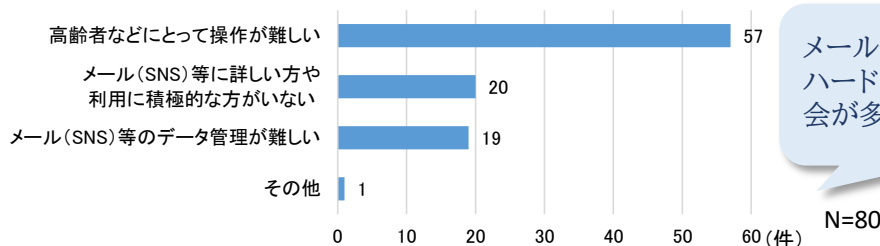
町内会が持つ地域コミュニティとしての役割のひとつに、「顔が見える関係づくり」がありますが、オンラインでのコミュニケーションが容易になったとしても、この関係づくりは大切です。

紙の回覧板を回すやり取りの中であったコミュニケーションの代わりとなるような交流の機会や場をつくりましょう。

【コロナ禍での町内会活動状況調査(2020年市町連)】(回答総数80町内会)

●メールやSNSを活用する場合の課題は「機器の準備に問題がある」が63町内会、次に「メール(SNS等)の活用方法が難しい」が60町内会であった。

●また、活用方法が難しいとされる理由は、「操作が難しい」が57町内会と最も多く、次に「メール(SNS)等に詳しい方や利用に積極的な方がいない」が20町内会であった。

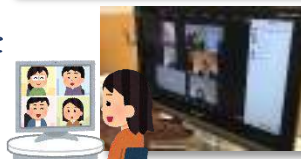


メールやSNSの活用にハードルを感じている町内会が多く見受けられます…

【Web会議ツール「Zoom」講習会の事例】(白樺町内会)

新型コロナウイルスの感染予防対策、また、事業の効率化を目的として「Zoom」の講習会を兼ねた役員会議のデモンストラレーションが行われました。

・白樺町内会は千歳市内でも高齢化率が高くなっており、高齢の役員も多い町内会ですが、スマホやパソコンの使い方などをお互いに学び合いながら、町内会活動に活用しています。スマホに不慣れな方や簡単スマホを使用している方も、今回の講習会を通してすぐにZoomの操作ができるようになりました。



POINT

- 町内会員が受け取りやすい情報発信の方法を考えましょう。
- SNSやZoomの使い方についての相談は、市町連でも受け付けています。

參考資料

アンケート調査票様式 (1/2)

問4-2：今後の町内会の役員の見直しを確立するための方法について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 役員の見直し手続が活発でないのは町内会を解散してよい
- ② 町内会活動を増らし役員負担を減らす
- ③ 必要な役員人数を確保するために役員を簡易制（持ち回り制）にする
- ④ 役員に町内会費から賞金を支給しやむを得ない
- ⑤ 候補する町内会との統合・合併などにより運営の合理化を進める
- ⑥ 若手・中堅の他団体と連携して運営の合理化を進める
- ⑦ おおらかない
- ⑧ その他（ ）

問5：町内会の経緯・役員・行事や運営などにご意見・改善点・疑問点などがあれば、ご自由にご記入ください。

最後に、ご回答者さまを含めたご家族構成をお答え下さい。

- ① 0～9歳 男（ ） 女（ ）
- ② 10代 男（ ） 女（ ）
- ③ 20代 男（ ） 女（ ）
- ④ 30代 男（ ） 女（ ）
- ⑤ 40代 男（ ） 女（ ）
- ⑥ 50代 男（ ） 女（ ）
- ⑦ 60代 男（ ） 女（ ）
- ⑧ 70代 男（ ） 女（ ）
- ⑨ 80代 男（ ） 女（ ）

お答えなければ、ご回答頂きました方の該当する年代に○をつけてください。

(20代・30代・40代・50代・60代・70代以上)

※お願い

アンケート用紙の回収は、〇〇〇〇〇〇〇〇までお願いします。
 ※ご不明な点は、事務局（00-0000）までお問い合わせください。

〇〇〇町内会に関するアンケートのお願い

町内会員 各位

町内会長

同封の案内文をご置いたいただき、下記説明にお答え下さい。

- 町内会が抱える主な課題

 1. 役員の高齢化及び活動を担って頂ける方の不足
 2. 町内会行事の参加者の固定化又は減少
 3. 高齢化が進む中での町内会の在り方

問1-1：町内会では、年間活動として下記のような種別行事を行っています。参加者の固定化及び減少と云う状況になっています。各行事について A 参加の経験と B 今後の参加の意向について当てはまるもの全てに○を付けてください。

活動・行事名	A. 参加の経験		B. 参加の意向	
	参加したことがありません	参加したことがあります	参加していません	参加したいと思います
① 総会				
② 新年交流会				
③ 春・秋の町内大掃除				
④ ゴミステーションの管理				
⑤ 家族団談				
⑥ 防災パトロール				
⑦ 防犯員の管理				
⑧ 防災訓練				
⑨ 子供留守り隊				
⑩ 交通安全街頭啓発				
⑪ もちつき大会				
⑫ 夏祭り				
⑬ 親子新年会や新年早草園お祝い会				
⑭ 生き生き体操				

アンケート調査票様式 (2/2)

問1-2：参加者の満足度低下及び減少と云う状況になっていますが、その要因と思われるものについてお答えはまるもの3つまで○をつけてください。

- ① 参加したい時間が無い。
- ② 興味が無い、つまらない、(どのようない)
- ③ 一人では参加しにくい。
- ④ 身体的な問題で参加することが困難。
- ⑤ 作業内容の負担が(多い・少ない・少ない・分からない)。
- ⑥ 作業を(減らす・止める)。(作業量)
- ⑦ その他 ()

問1-3：より多くの方に行事に参加していただけるための改善点や工夫点などがあればお書きください。

問2：みなさまの暮らしを安心・安全に支え、楽しく住みやすい地域を目指すためには、どのような活動があったらいいと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- ① 防災・防犯の啓蒙に向けたパトロールや啓蒙活動、訓練
- ② 防犯カメラの設置
- ③ 一人暮らしの高齢者などの見守り活動
- ④ 高齢者も気軽に参加できるサロン(お菓子の作り寄りサロンなど)
- ⑤ 町内の人が英会話などになって教える料理教室などの気軽なサークル活動
- ⑥ 子育てサロンや子ども食堂など子育ての支援
- ⑦ ウォーキングやクリスマス会などの子どもを対象としたレクリエーション
- ⑧ 重なりやちろつき大会などの多世代が楽しめるイベント活動
- ⑨ その他 ()

問3：〇〇町内会では、地域の情報や町内会の活動を同担協でお知らせしています。しかし、災害時の緊急情報などを上手くお伝えできないほか、同担協では若い方などに十分に情報が伝わっていない状況にあると考えています。

地域の情報やお知らせを伝える方法について便利だと感じるもの教えてください。

- ① 同担協 (現在行なっている同担協です)
- ② メール
- ③ 携帯アプリ
- ④ ホームページ
- ⑤ Facebookページ
- ⑥ LINE (ラインのグループ)
- ⑦ ツイッター
- ⑧ インスタグラム
- ⑨ おからない
- ⑩ 地域の関係はわからない
- ⑪ その他 ()

問4：〇〇町内会では、町内会会員の高齢化と活動を担って頂ける方の不足が課題となっています。こうしたことから、効果的に活動を進めることを検討していますが、現在の状況が難ければ、会費は町内会員数を維持することができないことも想定されます。こうした課題に対してみなさまのご意見をお聞かせください。

問4-1：皆様の町内会活動の参加・サポートの可能性について、当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- ① 休職や時間的制約などにより町内会活動(行事)に参加することは難しい
- ② 町内会活動(行事)には参加するが、運営をサポートすることはできない
- ③ 年2回の清掃活動、ゴミステーションの清掃員などからは協力できる
- ④ 事前に調べていれば無償など行事の企画や準備なら手伝うことができる
- ⑤ 事前に調べていけば無償など行事の当日の手伝いならできる
- ⑥ 町内会の「お知らせ(ニュースレター)」などをつくるぐらいならできる
- ⑦ 町内会の情報をSNSで発信などの手伝いならできる
- ⑧ 年1、2回の交通安全運動など適合町内会の行事への参加ぐらいならできる
- ⑨ 役員までではないけれど定期的な手伝いはできる(副担協ぐらいならできる)
- ⑩ 役員をやってもよい(会長、副会長、部長、副部長、部長、会計など)
- ⑪ その他 ()

⑫～⑭に○をつけたい方、説明ですがお名前、ご連絡先を載せて下さい。(強制ではありません)

お名前 ()

連絡先 (電話・携帯) ()

メール () (ある場合)

個人情報取扱規定（1/3）

「〇〇町内会 個人情報取扱規定(取扱要綱)」

(目的)

第1条 この規定(取扱要綱)は、〇〇町内会(以下「本会」という)が保有する個人情報の適正な取り扱いに関する事項を定めることによって、町内会活動の円滑な運営を図り、個人の権利利益を保護することを目的とする。

(定義)

第2条 「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるものをいう。

(責務)

第3条 本会は、個人情報保護に関する法令等を遵守するとともに、町内活動において個人情報の保護に努めるものとする。

(周知)

第4条 本会は、この個人情報規程(取扱要綱)を、総会資料又は回覧により、会員に周知するものとする。

(個人情報の取得)

第5条 本会は、「家族カード」「弔慰金に関する届出(報告)書」「敬老祝に関する届出書」「会員の異動等(転出・転入)に関する届出(報告)書」などにより、個人情報を取得するものとする。

- 2 第1項に定めることにより得た当該個人情報の内容に、かい離があり、再確認が必要となった場合、最新の個人情報を取得するものとする。
- 3 本会が取得する個人情報は、氏名(家族、同居人を含む)、住所、電話番号のほか、生年月日、性別、援護の要否、緊急時連絡先、その他の項目で、本人が同意する事項とする。
- 4 本会が個人情報を取得する際は、第8条に定める利用目的を速やかに本人に通知するものとする。利用目的を変更した場合も同様とする。
- 5 本会が第三者から個人情報を取得する場合は、取得の経緯を確認し、取得年月日、提供者の氏名、取得した情報の内容等を記録(様式-個1)するものとする。
- 6 本会は、偽りその他不正の手段により個人情報を取得してはならない。

(個人情報の開示)

第6条 本会は、前条に基づき取得した個人情報について、当該本人からの開示の申し出があった場合は、当該本人に対し遅滞なく、当該本人個人情報を開示しなければならない。ただし、開示することにより次に該当する場合は、その全部又は一部を開示しないことができる。

個人情報取扱規定（2/3）

- (1) 本人または第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- (2) 当該個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- (3) 他の法令に違反することとなる場合

（個人情報の訂正等）

第7条 本会は、第5条に基づき取得した個人情報について、本人から訂正、追加や削除等の申し出があった場合、利用目的の達成に必要な範囲内において、遅滞なく、当該本人個人情報の内容の訂正等を適切に対応するものとする。

（利用目的）

第8条 本会が保有する個人情報は、次の目的に沿った利用を行うものとする。

- (1) 会議開催、会員管理、会費等の徴収、その他町内会イベント案内など
- (2) 町内会員名簿の作成及び地図の作成
- (3) 会員相互の親睦を高める活動
- (4) 敬老祝等の対象者把握
- (5) 見守り活動、緊急時の要援護者への支援活動・安否確認
- (6) 災害時や防災のための支援活動・安否確認

（取扱い責任者）

第9条 本会が保有する個人情報の取扱い責任者は町内会長が任にあたる。又、取扱者は町内会長が指名した者が取り扱う。

（管理）

第10条 本会が収集した個人情報は、町内会長又は町内会長が指名する役員が保管するものとし、適正に管理する。

- 2 会員名簿は、配布を受けた個々の会員が適正に管理する。
- 3 不要となった個人情報は、適正かつ速やかに復元不可能な状態にして廃棄するものとする。

（取扱い従事者の監督）

第11条 本会は、その従事者に個人情報を取り扱わせるに当たっては、当該個人情報の安全管理が図られるよう、取扱い従事者に対する必要かつ適切な監督を行わなければならない。

（提供）

第12条 個人情報は、本人の同意を得ないで第三者に提供してはならない。ただし、次に掲げる場合は適用しない。

- (1) 法令に基づく場合
 - 警察、裁判所等からの照会
- (2) 人の生命、身体または財産の保護のために必要な場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
 - 災害時の被災者情報の家族・自治体等への提供

個人情報取扱規定（3/3）

- (3) 公衆衛生の向上または児童の健全育成の推進に必要な場合であつて、本人の同意を得ることが困難であるとき
- 不登校、児童虐待の恐れがある情報を関係機関で共有
- (4) 国の機関若しくは地方公共団体またはその委託を受けた者が、法令の定める事務を遂行することに対し、協力する必要がある場合
- 統計調査等への回答
- (5) その他、委託により個人情報を提供する場合
- 法人間での委託契約
- ※受託者が情報の漏えい等を行った場合、受託者が全責任を負う
- (6) 個人情報のうち役員に関するもので、〇〇市、△△連合町内会、□□社会福祉協議会又はこれらに準じる公共目的団体・学校が、町内会に関わる事務を遂行することに対し、協力する必要がある場合
- 2 第1項の定めによらず個人情報を第三者に提供する場合は、あらかじめ本人の同意を得ることとし、提供年月日、受領者の氏名、提供した情報の内容等を記録（様式一箇2）するものとする。
- (個人情報取扱業者による苦情の処理)
- 第13条 本会は、個人情報の取扱いに関する苦情の適切かつ迅速な処理に努めなければならない。

以上

制定 ●年●月●日

家族カード

町内会会員家族カード

家族構成簿				入居 年 月 日		
住所 千歳市 条 丁目 番 号						
電話 -				緊急連絡先(携帯) - -		
メール(Email・携帯メール)				◎ (ある方のみ)		
氏名	続柄	生年月日	問 題 別 添	勤務先	勤務先のTEL	摘要
＊注 摘要欄には、園児、小3、中3、高3、大4など記入して下さい。 ＊注 本個人情報 は町内会の「個人情報取扱規定」に基づいて扱います 町内会会長が責任をもって管理し町内会以外に譲渡、流出させません。						

一人暮らしなどで町内会での見守りを希望される場合は○をつけてください。

見守りを 希望する

町内会加入促進チラシ（千歳市町内会連合会作成）

町内会のイベントで
近所のお友達が出来ました!

通学路の行き帰り、
知らない場所には町内会の
見守り隊の子がいるから
安全です

ご近所と協力すると
豊かになれると思います

地震のときは、
近所の芽と
食料の備蓄などを
シェアしました

ずっと住みたいと思える街、ちとせ
その理由は**町内会**でした

子どもが安全に健やかに育つ街。
お年寄りや安心して過ごせる街。
いつもキレイな街。
いざというときに助け合える街。
ちとせがみんな街なのは、町内会活動が盛んだから。

シニア暮らしが快適で、
ご近所さんが気にかけてくれます。
町内会が防犯灯を
点けてくれたので
安心して夜道を歩けます

町内会では
キレイな街が
キープされています

ごみステーションが
整備されているから
ロラスも寄りつきません

田舎感で
地域のことを
分かります

～ちとせが好きだから～
ひとりの聲から生まれる安心・安全な暮らし、町内会ではじめませんか?

町内会活動も
しています!

千歳市 幸太郎
町内会活動も
しています。

町内会連合会のHPでは、各町内会の
の町内会で活動する仕組みを
掲載しています。ぜひご覧ください!

町内会 検索

chitosechoren.jp/

QRコード

町内会

メールアドレス	
連絡事項	
お問い合わせ・申込先	
千歳市町内会連合会	
千歳市幸町4丁目10 千歳タウンプラザ3F	
☎ 0123-49-7100 📠 0123-49-7300	

千歳市町内会連合会のホームページに掲載しています

URL <https://chitose-choren.jp/about/document.html>

千歳市町内会連合会

で検索!

回覧板の電子化アンケート調査票様式① (1/4)

ホームページ回覧板モニター アンケート 2021.1

この度はホームページ回覧板モニターとしてのご協力、ありがとうございました。

今後の参考とさせていただきますので、以下のアンケートにご回答ください。

1. 今回、「若い世代に町内会活動について知ってもらうこと、町内会活動に参加してもらうためのきっかけになること」を目的として、「ホームページに回覧板が投稿されたお知らせをLINE公式アカウント（メールも可）で受け取る」といった流れでホームページ回覧板を行いました。このやり方と、今後の運用方法についてお伺いします。

(1) 今後、回覧板をどのように続けていくべきだと思いますか？（1つに○）

- ①電子回覧板（ホームページ回覧板など）のみで続けるべき
- ②電子回覧板（ホームページ回覧板など）と紙の回覧板を併用して続けるべき
- ③紙の回覧板のみで続けるべき
- ④回覧板そのものを廃止するべき

その理由をお答え下さい。

(2) ホームページ回覧板と紙の回覧板について、下記の項目を5点満点で評価してください。（あてはまる数字に○）

項目	ホームページ回覧板	紙の回覧板
	良い・多い ⇄ 悪い・少ない	良い・多い ⇄ 悪い・少ない
総合評価	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
回覧の迅速性	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
回覧の受け取りやすさ	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
内容の読みやすさ・伝わりやすさ	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
実際に回覧を読んだ割合	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
コロナ対応での適切さ（接触・非接触）	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
回覧板受渡時の近所とのコミュニケーション	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1

裏面にも設問があります。

回覧板の電子化アンケート調査票様式①（2/4）

（3）紙の回覧板と比べて、今回のホームページ回覧板で良いと感じたところはありますか？（あてはまるものすべてに○）

- ①いつでも好きな時に情報を確認できるようになった
- ②自分が知りたい地域の情報が手に入りやすくなった
- ③LINE（メール）に通知が来るため、新しい情報に気が付きやすくなった
- ④回覧板を次の人に回す手間が無くなったので、楽になった
- ⑤その他

（4）紙の回覧板と比べて、今回のホームページ回覧板でやりにくい、わからないと感じたところはありますか？（あてはまるものすべてに○）

- ①1回のタップ（クリック）で、目当ての情報にたどり着かない
- ②LINEに来るお知らせの文面（どんな内容の回覧板が更新されたかなど）がわかりづらい
- ③LINE、メール以外のツールでお知らせを受け取りたい（Twitter・Facebookなど）
- ④その他

具体的な改善策の案はありますか？

（5）電子回覧板（ホームページ回覧板）を導入することによる懸念事項はありますか？（住民同士の交流の機会が減る、高齢者の見守りが難しくなるなど）自由にご記入ください。

2 ページ目にも設問があります。

回覧板の電子化アンケート調査票様式① (3/4)

- (6) 今回のホームページ回覧板は、「若い世代に町内会活動について知ってもらい、町内会活動に参加してもらうためのきっかけになることを目的としています。上記の目的を達成するために、情報共有の仕方も含めた取組のアイデアがありましたら、自由にご記入ください。

- (7) 今後、若い世代のほか、高齢の方、町内会への関心が薄い方などに、白樟町内会ホームページやLINE 公式アカウントの周知をするためのアイデアがありましたら、自由にご記入ください。

(例：声掛けを徹底する、夏祭りなどのイベントで周知を行う、転入者には必ずLINE 公式アカウントの二次元コードを教えるなど)

2. モニターをしてみたの感想やご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

裏面にも設問があります。

回覧板の電子化アンケート調査票様式①（4/4）

3. 最後に、ご回答いただきましたご自身についてお知らせください。

（1） あなたの年代をお答えください。

①10代以下 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

（2） あなたの性別をお答えください。

①男性 ②女性

（3） 中学生以下のお子さんが同居されていますか。

①同居している ②同居していない

（4） 回覧板のホームページ掲載の告知をどのように受けましたか。

①ラインで受けた ②メールで受けた ③両方で受けた

（5） 紙の回覧板では、これまでどのような回覧を特にご覧になっていましたか。

（あてはまるものすべてに○）

- ①広報誌「しらかば」 ②町内活動参加のお知らせ ③向町連だより
④小中学校からの通信 ⑤市役所からの回覧 ⑥買物の幹旋チラシ
⑦募金のお願い ⑧福祉や防犯関連などの回覧
⑨その他（具体的に： _____）
⑩特に回覧板を見ていない

ご協力いただきありがとうございました。

回覧板の電子化アンケート調査票様式②（1/2）

情報化協力隊 アンケート 2021.1

この度はホームページ回覧の管理運営にご協力いただき、ありがとうございました。

今後の参考とさせていただきますので、以下のアンケートにご回答ください。

今回、「若い世代に町内会活動について知ってもらうこと、町内会活動に参加してもらうためのきっかけになること」を目的として、「ホームページに回覧板が投稿されたお知らせをLINE公式アカウントで受け取る」といった流れでホームページ回覧板を行いました。このやり方と、今後の運用方法についてお伺いします。

（1）回覧板掲載の作業手順について、難しい点や作業時間などの課題をご記入ください。

※掲載の頻度、掲載する回覧の選択、PDF化、ホームページへの掲載、公式アカウントからの発信など

（2）情報化協力隊の人員や作業分担について、ご意見をご記入ください。

※最低係必要人数、作業工程の分担の仕方など

裏面にも設問があります。

回覧板の電子化アンケート調査票様式② (2/2)

(3) パソコンの配置やネット環境の望ましい体制について、ご意見をご記入ください。

※町内全所長のパソコン台数、Wi-Fiの設置、作業場所など

(4) 紙の回覧板をホームページ回覧板に移行した場合の課題について、ご意見をご記入ください。

※スマホ・パソコンを利用できない方への対応、情報化協力隊の人員募集など

(5) その他、お気づきの点について、ご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。